

# 監 査 報 告 書

水俣市長

高岡 利治 様

令和3年 5月 17日

監事 宮本勝彬



私たちは、社会福祉事業法第40条の規程に基づき、社会福祉法人光明童園の2020年度（自令和2年4月1日から至令和3年3月31日まで）における児童処遇及び職員処遇、事業報告について監査を行い、その結果次のとおり報告する。

## 【1】監査の方法の概要

令和3年5月13日（木）午前10時より、児童養護施設光明童園紫光ホールにおいて、光明童園、湯出光明童園、児童発達支援センターにここ、児童家庭支援センターオリーブの木の監査を実施した。それぞれの事業所の園長、管理者より資料をもとに2020年度の事業報告を受けた。

## 【2】監査意見

- ・2020年度の事業報告書、関係帳簿をもとに報告。  
スローガンである「和顔愛語」を基調に職員が一丸となって取り組む姿が伺えた。  
光明童園では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画通り実行できないものもあったがまずは感染対策の徹底をはかりながら計画に沿った事業遂行にあっていた。  
更には、長期事業計画を見据え、着実な実践への努力を伺うことができた。
- ・湯出光明童園では、新たなスローガン「子どもの笑顔のための大人の笑顔」のもと、明るく心の通い合う経営への努力がうかがえた。コロナ禍のきびしい状況であったが、子どもを中心にすえた支援を受け止めることができた。
- ・児童発達支援センターにここは、子どもがよるこんで充実した心で過ごし、明日への希望につながる場所を目指して努力がなされていた。更には保護者へのあたたかい配慮も伺えた。
- ・児童家庭支援センターオリーブの木は、「いのち」の大切さを基底に「みらい」へ向けて支え合い、全てが豊かに伸びていくことを願う職員の心意気を伺うことができた。

## 【まとめ】

- ・コロナ禍の厳しい状況の中、細やかな配慮、対応がなされ、それぞれの事業所が目標に向かって努力されていた。
- ・職員のとままりが感じられ、非常に良好な状況で運営がなされていることを受け止めることができた。今後も事業の進捗、到達度など絶えず振り返りながら進めて欲しい。



# 監査報告書

令和3年5月19日

水俣市長  
高岡 利治 殿

監事 芝原尚子 

私は、社会福祉法人光明童園の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における理事の職務の執行状況及び計算関係書類と財産の状況について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

- 1 監査日時 令和3年5月19日（水）午後1時30分より
- 2 監査場所 児童養護施設光明童園 紫光ホール
- 3 監査の方法及びその内容

理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について調査いたしました。

## 4 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上